

長久手市行政評価票

事業番号	24	事業の名称	防犯街路灯整備事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	女性や高齢者が一人でも安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。防犯施設の充実と共に住民の自主防犯意識の高揚を図ることを目的に、市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、東郷町においては、行政が防犯街路灯の整備・維持管理を行っている。豊明市においては、地元で設備・維持管理を行い、行政が事業に対して補助金を出している。								
	事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民				総事業費	うち	一般財源	20,260	18,714	22,203	21,439	21,842		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯街路灯の整備によって、市民の生活の安全を守るための環境を整える。						国費・県費							
							地方債							
							その他							
						受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H25目標値	H25予算		H25決算		事業規模
① 防犯街路灯維持管理事業	全市民に	4月~7月~10月~1月~ 市民やセーフティパトロール等からの防犯街路灯の修繕依頼に対し、契約業者へ修繕を指示することで	防犯街路灯を適切に管理することにより、市民の生活の安全を守るための環境を維持する。	100	100	%	前年度実績	17,925	16,569	主な修繕費の内訳 ・球切:1,092 ・器具取替:6,238 ・点滅器不良:95 ・機器移設:177 光熱水費11,586	A	古いタイプの防犯街路灯をLEDタイプの防犯街路灯に取り換えることにより、球切れ件数が昨年度の約半数となった。今後も、修繕費や光熱費といった維持管理費の削減するため、省エネ・長寿命であるLEDタイプの防犯街路灯の設置を進めていく。			
② 防犯街路灯整備事業	全市民に	(要望受付)現地調査(設置工事) 随時設置 自治会要望や安心安全課の現地調査により、防犯街路灯の新規設置工事を行うことで	必要とされる場所に防犯街路灯を設置することにより、市民の生活の安全を守るための環境をつくる。	92	90	%	全ての要求に対し、なるべく応えたいため、高い数値で目標設定した。	2,335	2,145	新規設置工事費: 2,226(80灯)	A	市民の要望には設置基準や要件を満たすものについて全て対応できた。今後も宅地開発等により防犯灯設置必要箇所の増加が考えられるため、設置を進めていく。			
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要